



# 我ら岬中

岬中HP更新中

= 教育目標 =  
**自他を大切にできる心と態度を養い  
 自己有用感をもてる生徒の育成**

- ・人権尊重の視点に立った学校づくり
- ・「誰かの役に立てた」という集団の一員としての自信の獲得

いすみ市岬町椎木 1370

	男	女	合計
1年	50	49	99
2年	42	46	88
3年	57	48	105
合計	149	143	292

## 安全・安心な学校をつくるために

学校で、生徒が生き生きと活動し学べるようにするために、その安全確保は不可欠の前提です。施設・設備の整備や防犯体制の確立を進めることはもとより、生徒が守られる対象であることにとどまるのではなく、自らの安全を確保することのできる基礎的な資質・能力を身につけていく取組も重要と考えます。

本校では、安心・安全な学校づくりに向け「生活」「交通」「災害」の面から、関係機関と連携しながら、安全管理と安全教育の充実を図っています。

### 点検により安全・安心な生活環境を

生活環境の安全を保つために、校舎内外の施設・設備の定期的または臨時の点検を行っています。これにより危険を事前に発見するとともに、危険の除去等の改善措置を講じています。

さらに、年2回、PTA総務の方々による点検を行い、校内環境の安全について保護者の視点から指摘していただく機会を設けています。

不審者侵入防止等、防犯の観点からは、警報装置や防犯カメラの設置の他、死角の原因となる立木の伐採、授業時間中の昇降口の施錠・職員による校内巡回等を行っています。

衛生面では、教室等の環境、飲料水等の水質及び施設・設備、害虫等について細かく「学校環境衛生基準」が設定されており、これに照らして、学校薬剤師の指導助言の下、定期・日常・臨時で検査・点検を実施することで、適切な環境衛生の維持管理に努めています。

給食時は、管理職による事前の検食と配膳時の衛生点検を実施しています。

### 各機関との連携で交通安全を

登下校中の交通安全を確保するためには、教育委員会、学校、PTA、警察、道路管理者との連携・協働が欠かせません。本校では、毎月初めにPTA校外活動委員会の皆さんによる交通指導の他、年度初めにいすみ警察署による交通安全教室、市教育委員会・警察・学校による定期の通学路点検を実施しています。また、年数回、通行する生徒の多い通学路の草刈りを県土木事務所が行ってくださっています。

### ハードとソフトで防災対策

地震・津波、風水害、火災など、それぞれの災害に応じた安全措置と組織的な対応が求められます。そのため、関係機関と連携した防災設備の整備や連絡・情報収集体制が確立されています。施設の耐震化はもとより様々な耐震対策、災害時の情報通信設備・備蓄倉庫の整備、防火扉やセンサー・消火設備の設置が進められ、点検は定期的に専門業者によって実施されています。また、災害の種類に応じた危機管理マニュアルが作成されており、全職員が通報連絡、避難誘導、搬出、警備、救護などの役割分担に応じて組織的に対応できる体制が構築されています。

### 身近な危機となっています

6月29日、千葉県警外房地区少年センターの天馬先生を講師に、2年生対象の「薬物乱用防止教室」を開催しました。近年、若者の大麻等の薬物使用が急増しており、この外房地域でも大麻等の摘発事案が発生しています。決して遠いところの話ではなくなっていることを知る機会となり、夏休みに向け、貴重な時間となりました。

◆さん(2C)「薬物は身近な人から誘われることが多く、また、薬物の入口は『たばこ』ということから、薬物の存在は意外と近いところにあるということがわかりました。自分のためにも周りの人のためにも絶対やってはいけないということをしっかし頭にに入れて行動したいと思います。」

### 【安全点検の種類】

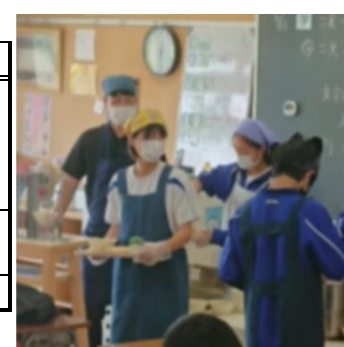
種類	対象	点検者	時期
定期	施設・設備 防火 防災設備	専門業者	毎学期1回以上
	校地、運動場 教室、トイレ 廊下・階段、 給食室 等	教職員	毎月1回、組織的に実施 毎授業日
臨時			行事の前後、災害時、近隣での犯罪発生時



伐採した立木(上)  
PTA総務による校内点検(左)  
給食配膳を指導する職員(下)

### 【学校環境衛生基準の検査項目】

検査項目	
換気 保温	二酸化炭素・温度・湿度・浮遊粉塵・一酸化炭素・二酸化窒素・気流・ダニ
採光 照明	照度 まぶしさ
騒音	騒音レベル



いすみ警察署と連携した交通安全教室

土木事務所による通学路の除草



様々な転倒防止対策(上) 危機管理マニュアル(中) 防災電話・防災扉

### 水泳授業が始まりました

本校の水泳授業は市内のスイミングスクールで専門のインストラクターの指導により行われています。

各学年3回で、1学期は2年生が実施しました。室内のプールは気温も水温も管理され、快適な環境で専門的な指導が受けられるので大変好評です。水の中での体の使い方を学ぶことは、健康面からも安全面からも大変重要です。積極的な参加をお願いします。

なお、1・3年生は2学期の実施となります。



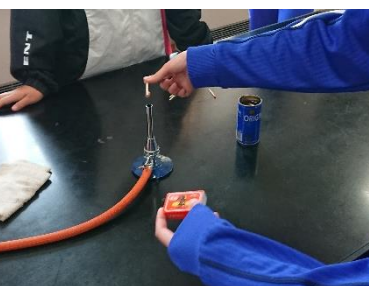
### 新たな危機事象への対応が求められています

社会情勢の変化に応じて、生徒を取り巻く環境も日々変化しています。

近年は、スマートフォンやSNSに関わる犯罪被害が社会問題化しているほか、学校への犯罪予告や弾道ミサイル発射等の事案など、新たな危機事象への対応も求められています。

本校では、「ネットモラル教室」(写真上)や「薬物乱用防止教室」を実施するなど、こうした新たな危機事象に対応した知識や実践的な態度を身につけるための取組を行っています。

### 安全教育の充実で生涯にわたる力を



安全にマッチで火をつける(理科)

地震対応避難訓練(学校行事)

### 【安全教育の主な内容】

#### <各教科>

- ・火気、刃物類、薬品・塗料、実験・作業用の器具、材料などの使い方と保管の仕方
- ・活動場所の安全確保
- ・情報モラル
- ・応急手当の知識・技能
- ・危険予測と回避の方法
- ・災害の種類と発生のしくみ
- ・災害への備え、災害発生時・後の安全な行動
- ・国民保護等、安全上の課題

#### <道徳>

- ・生命の尊重、公共の精神、よりよい学校生活
- <学校行事>
- ・交通安全教室
- ・避難訓練(地震・津波、不審者対応、火災)
- <特別活動>
- ・安全委員会による取組
- ・「ネットモラル教室」、「薬物乱用防止教室」、「思春期教室」
- ・長期休業中の安全について

生涯にわたって安全な生活を送り、安全で安心な社会づくりに貢献していくことのできる資質・能力を育てていくために、安全教育の充実はとても重要です。

各教科での学習、生徒会活動や学校行事、毎日のホームルームなど、学校生活の様々な場面で、様々な方法によって取り組んでいます。

その際は、地域の特性と生徒の実情を踏まえた取組を心掛けています。

### 人生を左右するネットとの付き合い方

6月8日、千葉大学教育学部非常勤講師でインターネット利用アドバイザーの飯島淳様を講師にお招きして、家庭教育学級を開催しました。テーマは、「ソーシャルメディア社会の光と影」です。

- 「使わせない」ではなく、大人と一緒に『正しく・楽しく』使うが大切!
- ネットに時間泥棒されていませんか?
- ・端末の利用時間制限機能の活用を
- ・自分の部屋でやらない! 始めと終わりの時間を紙に書いて、親が見える場所に貼る。一人ではプレイしない!
- 「炎上」は忘れた頃にやって来る。
- ・一瞬で公開⇒一生の後悔。加害者にも被害者にもなる
- ・ネットにアップは、玄関のドアに張り紙を貼り出すのと同じ
- 「指先があなたの人生を変える。悪い方にも、良い方にも!」

スマホやネットは、本来、人間の生活を便利で豊かなものにするためのツールなはずですが、しかし、本校でも、スマホやネット等によるトラブルや生活習慣の乱れが、とても多く見られます。契約者である我々大人が渡したもので、子どもたちの人生が不幸なものになってしまわないように、私たちは真剣に考えなければならないのではないのでしょうか。

◆さん(3C)「寝る前にスマホを見ると体にあんなに悪影響だとは思いませんでした。寝る前のスマホは控えたいです。人に何かを送る時は、一回考えてから送ろうと思います。スマホを使った分、しっかり勉強しようと思います。」

感染拡大防止のため、体調不良の場合の自宅療養にご協力ください

- ◆総合体育大会の日程は本校HPに掲載してあります。
- ◆総合体育大会や各種コンクール等の結果は次号に掲載します。
- ◆こまめな水分補給のため、十分な量のスポーツ飲料等を持参させるようお願いします。

連絡黒板



